

2019年(令和元年)佐久大学看護学部の卒業生に関する調査結果の概要

I. 調査目的

本学の教育がどのように評価されているかを定期的に把握し、その結果をカリキュラム内容や教育方法の見直し、改善・充実に反映させる必要がある。そのため、卒業生に関する調査は、第1期生に関して、卒業一年後の、2013(平成25)年に就職先の看護部長宛てに調査を行い、31名の看護部長から回答が得られた。その後、2015年(平成27)年8月に「佐久大学看護学部における看護学教育に関する調査」として、卒業生が新卒で就職した医療機関・行政機関の看護責任者を対象として調査し、61名(回収率72.4%)の回答を得た。

開学から11年が経過した2019(令和元)年は、第7期生までが卒業しているが、卒業したばかりの1年目の時と、その後の成長には差が生じているだろうことが推測されるため、経験年数別に1年目、2年目から4年目まで、5年目以上の三段階に分け、卒業後どのように成長していくのか、成長過程を見ることを目的の一つとし、過去2回のアンケート内容を若干修正し実施することとした。また、看護部長などの職位にある人ではなく、卒業生の日常的な業務をよく観察、把握し、指導いただいている直属上司(師長等)に、意見を尋ねる調査内容とした。2020(令和2)年は、7年に一度の外部評価を受審する年でもある。そこで、卒業生の卒業後の変化について評価を得ることによって、佐久大学看護学部における教育の質に対する評価の一つとし、今後のカリキュラム等へ反映させていくことを目的として、以下の調査を実施した。

II. 調査方法

1. 看護部責任者へのアンケート調査協力の依頼

調査対象施設は、本学卒業生の就職先である147施設(県内58(39.5%); 県外89(60.5%))であった。全施設の看護部責任者宛てに、就職した卒業生氏名のリスト、アンケートの趣旨と協力の依頼、調査の応諾用の返信ハガキを郵送し、2020(令和2)年1月31日(金)までに、協力可能な場合のハガキでの返信を依頼した。

2. 看護師長用アンケートの送付

123施設(82.6%)から返信があった。これらの回答のうち、卒業生が1名のみで、個人評価になるので辞退したいという回答が6施設からあり、また、退職等のため調査該当者なしが5施設であり、計112施設(76.2%)の協力が得られた。卒業生が多く、さまざまな部署に配置されている病院もあり、1施設当たりの回答者となる師長の数は、1人から15人で、合計256人となった。112施設の各看護部あてに該当の師長の人数分のアンケート用紙と返信用の封筒を、一括して送付した。また、QRコードを用いたWEB回答も可能とした。

看護師長用アンケート用紙を256部送付して、郵送による返信は109人(回収率42.6%)、WEBによる回答は40人(15.6%)で、計149人(58.2%)の回答が得られた。2020年のCOVID-19流行のピークを迎えようとしている時期のアンケート依頼にも関わらず、多忙な医療現場の師長から、6割近いアンケートの協力が得られたことは、本学の卒業生が各地域に根付いたという大きな意味があると考えられる。今回の報告は、2020年3月時点で得た回答の集計である。

Ⅲ. 結果概要

これまでの卒業生が就職している施設の所在地は、県内 58 か所 (39.5%)、県外 89 か所 (60.5%) 施設で、60%が県内に就職するという傾向がみられていた。今回のアンケートでは、長野県内からの返信が 99 人 (66.4%)、長野県外からが 50 人 (33.6%) であった。

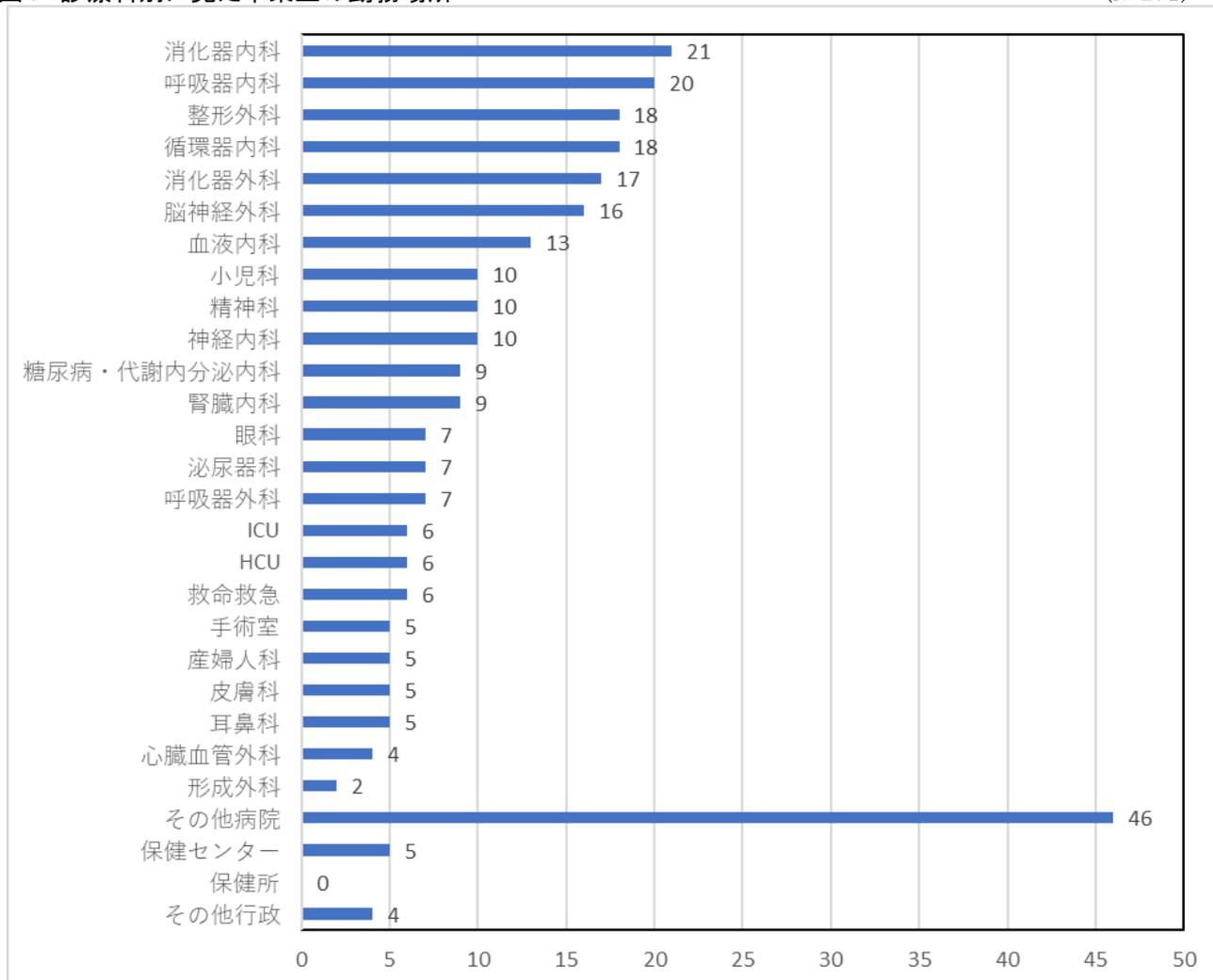
1. 卒業生の就職先の病棟等の所属部署

1 か所の施設でも複数の部署へ卒業生は就職しており、さらに卒業生が配置されている 1 か所の部署についても、複数の診療科に関する看護を業務として担当していることが推測できる。そこで、149 人の師長が勤務する部署での主な診療科を 3 つ挙げるように依頼した。

その結果、主な診療科をあげた師長は延べ 291 人で、多く上がったのは、消化器内科 21 人、呼吸器内科 20 人、整形外科 18 人、循環器内科 18 人、脳神経外科 16 人であった。また、精神科 10 人、小児科 10 人のほか、産婦人科、回復期リハビリテーション病棟、結核、療養型、外来部門、訪問看護ステーションなどというさまざまな部署であることが明らかになった。さらに、急性期に特化した救急、ICU、HCU、手術室という回答や、病院以外の保健センターから 5 人の回答も得られた。その他には総合診療科、地域包括、リハビリテーションなどが含まれていた。

今後、経験年数によって、配属部署の違いがあるのかどうか、1 年目に要求される教育内容や看護実践内容等は何かを推察する分析、検討が必要である。(図 1)。

図 1 診療科別に見た卒業生の勤務場所 (N=291)



2. 佐久大学を卒業した看護職(看護師・保健師・助産師)について

1) 卒業生の看護実践能力について

本学のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づいた9項目についての回答は、発揮していない、あまり発揮していない、やや発揮している、良く発揮している、という4段階で回答を得た。卒業生が『1年目』のみ、『2～4年目』のみ、『5年目以上』のみでは師長の回答は1回で、『1年目』と『2～4年目』の卒業生がいる、あるいは『2～4年目』と『5年目以上』がいる、『1年目』と『5年目以上』の卒業生がいる場合は2回になる。さらに、『1年目』と『2～4年目』と『5年目以上』の卒業生がいる場合は、3回師長が回答するため、延べ174となった。なお、一つでも欠損がある場合は、欠損値とし、『1年目』について回答した師長が45人、『2～4年目』が70人、『5年目以上』が40人となり、回答者の計は155人となっている。

すべての項目で「やや発揮している」という回答が多い傾向であった。1. 専門的な知識、2. 専門的な技術においては、5年目以上の看護師が良く発揮しているという評価が多く、経験による妥当な成長がうかがえた。また、卒後1年目であっても、4. 対象を幅広く理解し、援助的対人関係を形成する能力（コミュニケーション能力）に関しては、比較的高い評価を得ており、授業や臨地実習で培われた能力であり、本学の卒業生の良い特徴とも解釈できる。9. 自己研鑽については、「やや発揮している」、「よく発揮している」が約95%を占めて高く評価されていたことも本学学生の強みが明確になったといえる。このことが同僚や他職種、対象者からの評価に影響しているのではないかと考えられた。

一方で、8. 国際的視野は経験年数にかかわらず、あまり発揮していないという回答が多く今後の教育内容へ反映すべき課題として明確に指摘されていた。国際的視野については、卒業生が発揮できる場がなかったか、あるいは本学が求めている「国際的視野」についての臨床現場との概念の共有がなされていない可能性もあり、「その機会がなかった」という選択肢も考慮すべきであった。

表1 ディプロマ・ポリシー別にみた看護実践能力の発揮状況

N=155 : n=1年目45名、2～4年目70名、5年目40名

項目		発揮していない			あまり発揮していない			やや発揮している			よく発揮している			P
		1年目	2～4年目	5年目以上	1年目	2～4年目	5年目以上	1年目	2～4年目	5年目以上	1年目	2～4年目	5年目以上	
1. 専門的な知識	人数	2	1	0	11	11	4	28	46	15	4	12	21	<0.001
	割合(%)	4.4	1.4	0.0	24.4	15.7	10.0	62.2	65.7	37.5	8.9	17.1	52.5	
2. 専門的な技術	度数	2	1	0	11	16	5	29	42	15	3	11	20	<0.001
	割合(%)	4.4	1.4	0.0	24.4	22.9	12.5	64.4	60.0	37.5	6.7	15.7	50.0	
3. 豊かな人間性と高い倫理観	度数	1	3	0	13	11	6	22	40	22	9	16	12	0.21
	割合(%)	2.2	4.3	0.0	28.9	15.7	15.0	48.9	57.1	55.0	20.0	22.9	30.0	
4. 対象を幅広く理解し、援助的対人関係を形成する能力(コミュニケーション能力)	人数	1	3	2	10	14	3	22	34	22	12	19	13	0.47
	割合(%)	2.2	4.3	5.0	22.2	20.0	7.5	48.9	48.6	55.0	26.7	27.1	32.5	
5. 看護における課題の追究(看護の課題を発見し、解決に取り組む能力)	度数	2	2	0	17	22	11	25	35	16	1	11	13	0.02
	割合(%)	4.4	2.9	0.0	37.8	31.4	27.5	55.6	50.0	40.0	2.2	15.7	32.5	

6. 保健医療福祉チームの一員として協働する能力	度数	1	3	2	16	17	5	26	41	20	2	9	13	0.01
	割合(%)	2.2	4.3	5.0	35.6	24.3	12.5	57.8	58.6	50.0	4.4	12.9	32.5	
7. 地域特性と文化的多様性を理解し、健康課題を捉える能力	人数	7	8	0	21	33	13	15	28	22	2	1	5	0
	割合(%)	15.6	11.4	0.0	46.7	47.1	32.5	33.3	40.0	55.0	4.4	1.4	12.5	
8. 国際的視野	度数	22	23	7	15	37	24	6	10	6	2	0	3	0.04
	割合(%)	48.9	32.9	17.5	33.3	52.9	60.0	13.3	14.3	15.0	4.4	0.0	7.5	
9. 自身のスキルや能力を高める努力(自己研鑽する自律的学習姿勢)	度数	2	4	0	8	19	7	28	34	18	7	13	15	0.04
	割合(%)	4.4	5.7	0.0	17.8	27.1	17.5	62.2	48.6	45.0	15.6	18.6	37.5	

kruskal-Wallis 検定

2) 卒業生に対する全体的な評価

他者評価では、「まあまあ良い」「たいへん良い」という肯定的な意見がほぼ9割を占めており、経験年数別では、5年目以上が高い評価を得ている傾向を示した。その中で、同僚からの評価において、「あまりよくない」評価が10%程度認められたが、多職種からや対象者からの評価は良く、後述の自由記述内容で、卒業生の強みと成長しにくい課題がどこにあるのかを探索する必要がある。

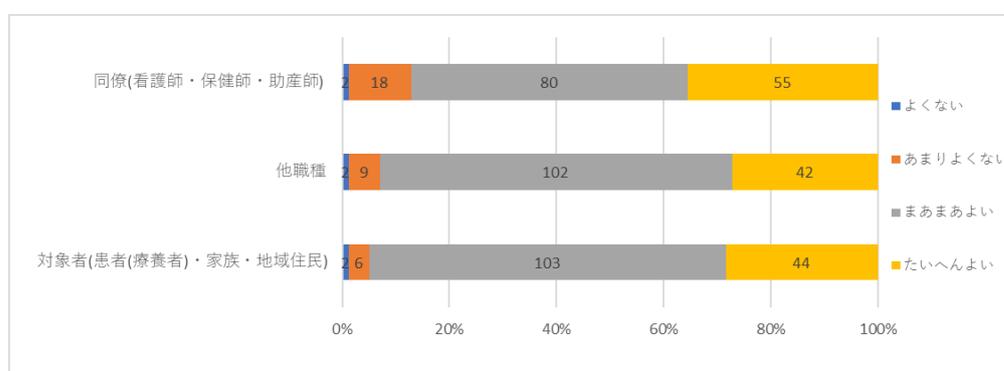
表2 経験年数別の全体的な他者評価

N=155: n=1年目45名、2~4年目70名、5年目40名

全体的な評価		よくない			あまりよくない			まあまあよい			たいへんよい			P
		1年目	2~4年目	5年目以上	1年目	2~4年目	5年目以上	1年目	2~4年目	5年目以上	1年目	2~4年目	5年目以上	
同僚(看護師・保健師・助産師)からの評価	人数	0	1	1	7	6	5	25	36	19	13	27	15	0.500
	割合(%)	0.0	1.4	2.5	15.6	8.6	12.5	55.6	51.4	47.5	28.9	38.6	37.5	
他職種からの評価	度数	0	1	1	4	3	2	32	44	26	9	22	11	0.38
	割合(%)	0.0	1.4	2.5	8.9	4.3	5.0	71.1	62.9	65.0	20.0	31.4	27.5	
対象者(患者(療養者)・家族・地域住民)からの評価	度数	0	1	1	2	2	2	33	49	21	10	18	16	0.34
	割合(%)	0.0	1.4	2.5	4.4	2.9	5.0	73.3	70.0	52.5	22.2	25.7	40.0	

kruskal-Wallis 検定

図3 全体的な他者からの評価 (n=155)

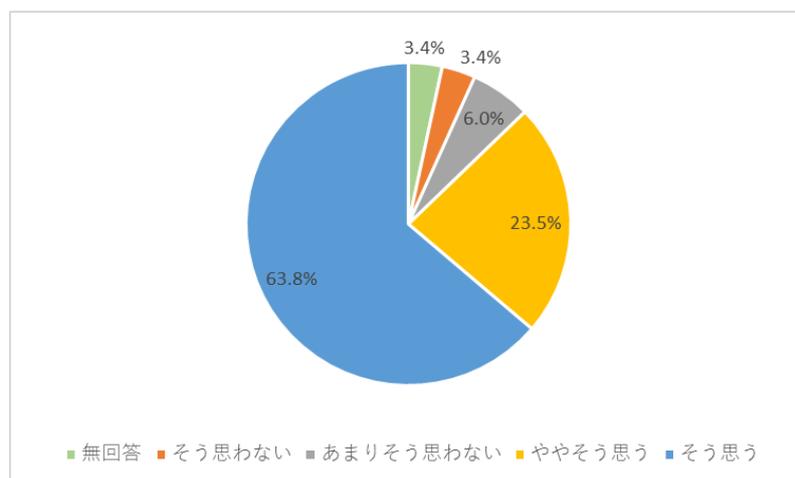


3. 佐久大学に対する要望・期待について

1) 本学卒業生の採用希望について

今後の本学卒業生について採用したいかどうかについて4段階で質問した結果、「そう思う」が95名(63.8%)で最も多く、「ややそう思う」35名を合わせると85%を占めた。一方、「あまりそう思わない」9名、「そう思わない」は5名で、無回答が5名であった。

図4 本学卒業生の採用希望について N=147



2) 「採用したい」と考える理由

上記の採用の有無に関する理由について、自由記述で回答を求めたところ、111名からの回答が得られた。採用希望に関する回答で、「そう思う」「ややそう思う」を『採用したい』とし、「そう思わない」「あまりそう思わない」を『採用したくない』の2つに分けて分析した。記述内容から採用に関する考えを抽出し、意味内容の類似性に基づき分類し、サブカテゴリー、カテゴリー化した。本文中の【】はカテゴリー、〈〉はサブカテゴリーを表す。なお、本項目の結果として、具体的な自由記述の内容を、参考資料(V. 本学卒業生の採用に関する希望とその理由)として掲載したので、ご参照いただきたい。

本学卒業生の採用を希望する理由は、【看護者としての成長がみられる】【看護者としての能力が備わっている】【社会性がある】【大学の教育方針のよさ】【地元での活躍につなげたい】【“大学卒”であることへの期待】【病院(看護部)の理念に合致していればよい】【人員確保のため】が挙げられた。

特に【看護者としての能力が備わっている】については、さらに〈考える力がある〉〈前向きな姿勢がある〉〈学習意欲がある〉〈丁寧なケア・対応ができる〉〈基礎的知識がある〉〈実践力がある〉〈コミュニケーション能力がある〉〈協調性がある〉〈柔軟性(受け入れる姿勢)がある〉〈責任をもつことができる〉という、臨床での看護ケアやチーム医療に必要な能力が備わっていることが具体的に挙げられていた。

また、【社会性がある】については、〈マナーが身につけている〉〈社会人基礎力がある〉〈人間性に優れている〉〈感性が豊かである〉という、一人の社会人として、さらに一人の人間としての評価が寄せられた。

一方で、採用を躊躇する意見も寄せられた。具体的には〈人との関わり〉〈人間性〉〈「看護」に対する理解〉〈考える力〉の不足であり、早期退職、国試不合格、基本的な能力不足など、個人的な事情と基礎的な能力については本学学生の課題と考えられた。

3) 「採用したくない」と考える理由

本学卒業生の採用を希望しない理由は、〈実践できない〉〈コミュニケーション能力が低い〉〈アセスメント能力が低い〉〈判断不足(インシデントが多い)〉〈反省できない〉という理由が挙げられていた。先の卒業生に対

する全体的な評価でも、10%程度は、同僚からあまりよくないという評価があったように、成長しにくいその個人的要素もあり、看護という場での対人関係の能力に関する課題のほか、〈早期退職〉〈国試不合格〉という問題も挙げられ、送り出す大学側での課題といえる。

そのほか、〈実習施設〉〈地元に戻るリスク〉、また就職先としては該当しないが挙げられた。採用希望について無回答であった2名は、「出身校ではなく自己研鑽できるかどうか注目している」、「採用人数が少なく判断できない」という理由が挙げられていた。

4. 卒業生の資格取得や能力を発揮している活動について

1) 取得した資格

卒業生の資格取得状況について4名が回答し、その内容は ICLS インストラクター、保健師、糖尿病療養指導士、高血圧・循環器病予防療養指導士であった。

2) 能力を発揮している活動

本学の卒業生が職場において、保健師もしくは看護師としての能力を発揮していると評価している活動内容については58名から回答が得られ、記述内容の類似性でまとめた結果は表に示すとおりである。その内容は、保健師は【保健活動に必要な能力】、看護師は【積極的な研修への参加】【専門性の追求】【チームワーク】【サークル等での活躍・貢献】であった。

能力を発揮している活動		データ
保健師	保健活動に必要な能力	一般的な(ポピュレーション)部分での健康教育(問題をあまりかかえてない人の健康増進)集団に対しての教育や講義は上手【1】
		データ処理などで知識や技術【2】 保健師による予防活動(保健指導)【23】、特定保健指導の実践【119】 保健活動を考える自主的研究会での継続学習【83】
看護師	積極的な研修への参加	精神科に特化した研修に積極的に参加し、HP内でのグループワークに直結している。【3】 休日に自己研鑽のための研修会に参加し、業務に活かすように努めています。【8】 院外研修に積極的に参加している。【66】 認知症に対する研修に参加し、病棟スタッフへ伝達講習を行っている。【64】 精神だけにかた寄せず研修参加希望あるが、職場への還元率が低い。【72】 学会発表【84】
		法人内のローテーション研修に参加【109】 新人の院内研修カリキュラムに熱心に取り組んでいます。課題も期限を守って実施しています。【94】 人工呼吸器に対する研修など県外に行き自己研鑽しています。【86】
		ICLS、心電図の勉強会【66】 NCPR【40】、ACLS【104】 BLS【84】、【135】、学生指導、在宅訪問、国際医療【84】 医療安全【52】 倫理問題【135】 褥瘡チームのリンクナースとして活躍してくれています。【122】 認知症ケアチームメンバー、リスクマネージャーとして活動している。【97】
		後輩指導【58】 急変対応チームで率先して後輩指導を行なっています。【138】 後輩の相談役・支援者【133】 病棟の係活動を先輩ナースと共に積極的に取り組んでいる。【55】 日々の看護を先輩に聞き教えてもらいながら頑張っています。【146】 リーダーシップ【58】【104】
	チームワーク	看護研究・QCサークル【116】 病院内のスポーツ大会(フットサル)で活躍・貢献している。【95】 講座の担当や後援会活動【145】
		サークル等での活躍・貢献
	その他	

3) 今後の成長に期待すること

本学卒業生に今後の成長として期待していることは、保健師は【保健師としての知識】を高めること、看護師は【組織内役割・後輩指導】【看護研究】【新人看護師としての成長】【特になし】であった。

今後の成長に期待すること	データ
保健師としての知識	保健師として知識を高め、研究論文も【10】
組織内役割・後輩指導	2020年度プリセプターをしてもらおうと考えています。【5】 これから2年目となるので係活動などで能力発揮してもらいたい。 また院内外の研修を通して興味のある分野について自分で見つけ精力的に活躍して欲しい。【26】 今後、4年目になり、プリセプターなどリーダーシップを発揮してくれることを期待しています。【36】 救急に対する研修をすすめている。【6】 次年度は臨床実習指導者予定【97】
看護研究	保健師として知識を高め、研究論文も【10】 症例をまとめるにあたり文献検索や先行研究に対する知識【60】 研究的な取り組み【80】 看護研究【98】
新人看護師としての成長	今年初めて佐久大学の卒業生を迎えました。まだまだこれかということころでしょうか。【71】 1年目であり、まだ、先のキャリアについては未定です。【87】 まだ、1年目なので、その様に活躍してもらえる場面は少ないですが、今後十分に発揮していかれる と思っております。【38】 活動:1年目ですので部署内での役割は特に課していません。【45】
特にない	特に感じられる場面はなかった。【110】【134】 特になし【19】【25】【29】【49】【81】【105】【115】

4) 本学卒業生による優れた看護実践(提供)の内容

本学卒業生の看護実践(提供)について、優れていると評価できる内容の有無とその具体的内容についての回答を求めたところ、100名から「看護が実践(提供)できている」もしくは「優れている」と評価している内容に関する回答が得られた。記述内容の類似性でまとめた結果は表に示すとおりである。

卒業生の優れた看護実践(提供)は、【看護過程による問題解決型思考】【対象および状況に応じた看護実践】【傾聴力】【コミュニケーション力】【寄り添う看護】【リーダーシップ・メンバーシップ力】【対象を尊重した関り】【患者・同僚への対応力】【自己研鑽力】【倫理的行動力】【情報処理能力】【社会人基礎力】【資質】など多岐にわたる実践状況が記載されていた。

実践・評価内容	データ
看護者としての能力 看護過程による 問題解決型思考	患者・家族の情報を十分に把握し対象を捉えることができている。【20】
	アセスメントとケアマネジメント力【8】
	アセスメント能力がある。【55】
	観察、アセスメント、コミュニケーション能力【39】
	患者さんとのコミュニケーション、傾聴、最近ではアセスメント力を発揮されている【52】
	患者に優しく、アセスメントができ、全体像がつかめる【11】
	アセスメント能力【82】【139】【111】
	分析する能力【113】
	優先順位を考えて行動できる。【112】
	看護計画に沿ったケアを立案、実施できる。【3】
	退院後の生活を見据えて、看護展開ができ、退院支援につなげられている。【20】
	基本的臨床看護技術は修得できました。【25】
	煩忙な部署であるため、常に優先順位を考え、計画を修正しながら取り組んでいる。【45】
	問題意識を持ち改善につなげようという姿勢がある。【117】
	受診者の抱える問題把握能力【119】
入院時の急性期の病態アセスメントをしながら、在宅での背景を情報収集し退院調整までのイメージができる。【149】	

実践・評価内容	データ	
看護者としての能力	<p>指示を確実に実施できる。【5】</p> <p>保健師による予防活動(保健指導)【23】</p> <p>薬物に頼らず患者との対話で症状緩和を図っていること【24】</p> <p>安全面に配慮しながら決められた手順に沿って業務を遂行している。【45】</p> <p>退院支援【47】</p> <p>多重課題ができる。【55】</p> <p>家族も含めた看護実践【76】</p> <p>高齢者看護【81】</p> <p>地域の健康課題を把握し、直接的な保険サービスを提供するとともに関係機関とネットワークづくりを行い包括的に考え、支援することができる能力を持つ。【83】</p> <p>患者それぞれの生活背景などを考慮した看護ができている【84】</p> <p>自部署の疾患の実践ができている【85】【92】</p> <p>患者、スタッフとのコミュニケーション、または家族への情報の提供もできている。【90】</p> <p>基本的実践ができるようになった状態【100】</p> <p>急性期。医療機器のとり扱い、急変対応はなんの問題もない【102】</p> <p>対象に関心持ち、何が必要か又は望んでいるのかを考えて看護実践しているとき【114】</p> <p>小児の患児の手術看護【122】</p> <p>基礎看護技術【125】</p> <p>外来看護 在宅看護【128】</p> <p>コミュニケーション能力が良好であり、全てのマネジメント能力を兼ね備えている。【129】</p> <p>個人から家族、集団、地域と支援するなかで、事業化や施策化までを運動し実践していく能力を身につけてチームとしての協調性も必要であると感じている。【132】</p> <p>リフレクションの力もしっかりと備わっています。【37】</p> <p>専門的な知識、技術と、患者への対応力が優れています。【138】</p> <p>当院は離職率が低いいため新卒看護師の入職が少ない。新卒のフレッシュさと変化する医療の適応に対してベテラン看護師よりも柔軟に対応できる。【135】</p>	
	傾聴力	<p>対象者の話を時間をかけて、ゆっくり聞く力【1】</p> <p>対人援助において傾聴する力【8】</p> <p>患者さんとのコミュニケーション、傾聴、最近ではアセスメント力を発揮されている【52】</p> <p>患者家族の訴えを傾聴し、寄り添えている。【64】</p> <p>患者や家族に耳を傾けることができる。【143】</p> <p>患者の要求(家族を含め)に耳を傾け看護展開できる。【149】</p>
	コミュニケーション力	<p>患者の思いを引き出す力【5】</p> <p>観察、アセスメント、コミュニケーション能力【39】</p> <p>スタッフともアサーティブにコミュニケーションができている。【26】</p> <p>他者とのコミュニケーション</p> <p>患者に必要な援助を考え、相談できカンファレンスで自分の考えをきちんと他者に伝えることができる。【14】</p> <p>コミュニケーション能力【5】【44】【55】【91】【113】【116】【121】【142】</p> <p>患者さんとのコミュニケーション、傾聴、最近ではアセスメント力を発揮されている【52】</p> <p>コミュニケーションがとれる。【65】</p> <p>患者家族とのコミュニケーションを上手にとっている【66】</p> <p>患者、スタッフとのコミュニケーション、または家族への情報の提供もできている。【90】</p> <p>コミュニケーション能力</p> <p>前向きに受け止めて、めげない。先輩とのコミュニケーションがとれる。【95】</p> <p>先輩とのコミュニケーションがとれる。【95】</p> <p>看護に対する姿勢・コミュニケーション能力【108】</p> <p>コミュニケーション能力が良好であり、全てのマネジメント能力を兼ね備えている【129】</p>
	寄り添う看護	<p>相手の気持ちを理解し、寄り添う看護【32】</p> <p>看護の原点である、患者に寄り添うことができる。【50】</p> <p>患者の苦痛や困っていることなどに寄り添うことはとても優れています。【59】</p> <p>患者家族の訴えを傾聴し、寄り添っている。【64】</p> <p>患者に寄り添う姿勢【93】【103】【109】</p> <p>患者の思いに沿った看護が展開出来ている。【107】</p>

実践・評価内容	データ
リーダーシップ・メンバーシップ力	<p>チーム医療【32】</p> <p>ケースについては、一人だけで抱え込まず、相談する力(連携)があると思います。【46】</p> <p>問題提起や疑義照会も積極的にでき、理解・納得し根拠をふまえた看護実践ができる。【54】</p> <p>責任を持ち任務・業務を遂行できる力と協調性があり周囲と協力する事で、患者の安全・安楽を優先した看護が実践できている。【54】</p> <p>多職種と共働しかンファレンスを行い、看護師として意見を述べることができる。【64】</p> <p>チーム内でのリーダーシップ、メンバーシップ【76】</p> <p>高齢者が多い病棟のため、認知症の方も多い。看護ケアに優しさを感じる。</p> <p>多職種ともうまく関わることができている。【97】</p> <p>人をまとめる力、周囲を見ながら、臨機応変に対応する姿勢。【104】</p>
対象を尊重した関わり	<p>患者の立場に立って考えられる。【14】</p> <p>患者主体で思いやる心【2】</p> <p>患者のニーズ、要望を取り入れている患者中心に考える。【30】</p> <p>患者の立場に立って考えられる。【34】</p> <p>患者との関わりなど、物腰が柔らかく、相手の立場に立ち考えることができる。【75】</p> <p>看護過程を活用し、患者の目線で動ける。【120】</p> <p>対象のことを考えられる。【131】</p> <p>限られた時間の中で、患者を尊重した看護を提供できる【133】</p> <p>自分のできている最大限(経験年数にあった)の力で患者のための看護を考え、実践できる。【14】</p> <p>専門的な知識や技術を習得してきており、それらを活かして患者ケアを行おうとする姿勢が見られているため。【19】</p> <p>相手を尊重した関わりができる。【143】</p>
患者・同僚への対応力	<p>人間関係の構築【7】</p> <p>多職種や患者、家族との関係を築く力が優れていること【87】</p> <p>丁寧な対応【16】【144】</p> <p>患者に優しく、アセスメントができ、全体像がつかめる【11】</p> <p>患者の接し方やケアが優しく丁寧【35】</p> <p>患者の対応が優しくとてもよいと思う。【31】</p> <p>スタッフ患者さん、ご家族etcどんな対象者にも尊敬、尊重、敬意、で接しています。【38】</p> <p>対象や、同僚に丁寧に対応している【51】</p> <p>患者一人一人にしっかり対応している【58】</p> <p>真摯に対応しようとする姿勢。電話を率先してでている。【96】</p> <p>高齢者が多い病棟のため、認知症の方も多い。看護ケアに優しさを感じる。</p> <p>多職種ともうまく関わることができている。【97】</p> <p>後輩や学生指導が丁寧。【107】</p> <p>丁寧に明るい看護が提供できていると思います。【110】</p> <p>専門的な知識、技術と、患者への対応力が優れています。【138】</p>
自己研鑽力	<p>新しく得た知識をしっかりと自分の中で具体的に噛み砕き理解ができ、自分のものとして実践に活かすことができ、後輩の指導もできる。【10】</p> <p>前向きに学習していきたいという積極性がみられます。【15】</p> <p>自身のスキルや能力を高め、専門的な知識や技術を身に付けている自己研鑽する姿勢が優れている。また、同僚へもその知識や技術の研鑽を推進している点【39】</p> <p>新しく学ぶ技術習得の態度【44】</p> <p>真面目で学習意欲が高く努力する姿勢が優れている。基礎学習がしっかりしている【57】</p> <p>疾患・治療など調べて理解しようとする自己研鑽の姿勢【94】</p>
倫理的行動力	<p>倫理をしっかりと意識して仕事ができている。【3】</p> <p>倫理的な問題を考える時【63】</p> <p>倫理的視点も含め患者さんがみれる。【65】</p> <p>倫理綱領に則している。【112】</p>
情報処理能力	<p>記録、統計処理が上手です。【46】</p> <p>事例の検証・分析・データベース(可視化)能力【60】</p>
社会人基礎力	<p>社会人としての秩序も保っています。【38】</p> <p>提出物は早めに出せる【72】</p>
資質	<p>個人的に明るい生活、素直な性格【1】</p> <p>なにより強く対応する力【1】</p> <p>患者が困っているのではないかという観点やもっとこうすればよいのではないかという感性が高い。【26】</p> <p>性格的なものだと思いますが、控えめではありますがコツコツと努力することができ、素直さ、一生懸命さがあります。先輩看護師からも可愛がられており大切に育てていきたいと思っています。【45】</p> <p>前向きに受け止めて、めげない。【95】</p>

看護師としての能力

実践・評価内容		データ
評価が難しい		個々によるため、 評価しづらい 。【41】
		個性があるため 佐久大学という枠組みでは返答できません 。【101】
		個々により違います 。基本はできていると思います。【145】
その他		個性が強いと団体では上手く噛み合わないことがあり。団体でというより保健師とか個人で進める仕事が良いと思いました。【17】
		ハード面での教育が必要な場面がある【72】
		人としての部分(挨拶、コミュニケーション能力、一般常識)がベースにない方は、私の主観的見解として看護技術や知識をなかなか取得できない傾向(時間がかかる)にあります。对患者、スタッフ、家族も職員をよく見ているので、その部分がないとその方自身も苦勞すると思います。ですので、その部分を持ち合わせているスタッフは「優れている」と評価に近づけると思います。【86】
		他の卒業生と大差なし【74】
		1年目ですので、まだ日々業務でいっぱいいっぱい優れている評価までは至っていません。【146】
		個人から家族、集団、地域と支援するなかで、事業化や施設化までを連動し実践していく能力を身につけてチームとしての協調性も必要であると感じている。【132】
		自部署にいないため不明【115】 わからない【134】

5) 大学に対する意見・要望について

本学に対する意見や要望を自由記載で求めたところ 37 名から回答が得られ、記述内容の類似性でまとめた結果は表に示すとおりである。具体的には、【コミュニケーション能力の強化】【社会人基礎力の強化】【学生の資質強化】【看護職としての能力強化】という教育に関する要望、【採用や受け入れ側の対応】【卒業生の傾向】【学ぶ場の提供】【地域貢献】という施設側の意向、【当大学教育への評価】に関する意見が寄せられた。

要望の内容		データ
コミュニケーション能力の強化		コミュニケーション能力を養って欲しい です。【31】
		コミュニケーションの能力が低い方が増えている 。【41-①】
		自信を持ち、 先輩に伝えることができる人材 を【3-②】
		自主性が発揮でき、 積極的なコミュニケーション を発揮できる能力が必要です。【110】
		コミュニケーション能力、社会性等基本的な姿勢 について育成して欲しい。【111】
社会人基礎力の強化		社会人としてのマナーが理解し、実践できない方が増えている。(報、連、相や、高齢者対応...)【41-②】
		社会人として挨拶できる人間、言われなくても自分で考える、相談する。メモをとる。課題を出したらやってくる。【64】
		知識・技術だけでなく、社会人基礎力も教えて欲しい。どんな知識・技術を身に付けても看護は人間力であると思う。【115】
		コミュニケーション能力、社会性等 基本的な姿勢 について育成して欲しい。【111】
		学士をとられる方を含め、立派な社会人を身につける教育をお願いします。【130】
学生の資質強化		知識や技術だけでなく、 基本的マナーと豊かな人間性 を備えた看護職をお願いします。【117】
		社会人基礎力アップもご指導いただきたいと思います。【142-②】
看護職としての能力強化		知識や技術だけでなく、 基本的マナーと豊かな人間性 を備えた看護職をお願いします。【117】
		粘り強く 積極性 を持ち向上心のある学生に【125】
		どの学校にも言えることであるが、 リフレクション能力の育成 が大切だと思います。【133】
採用や受け入れ側の対応		合併症をもつ高齢者が増加しています。可能であれば、シミュレーターを使用した フィジカルアセスメント力の向上 を求めます。【142-①】
		倫理と看護にかかわる内容 を期待します。【3-①】
		看護に対する姿勢、誠実さ、患者への思いやり、倫理観を持った方を採用 したいです。【69】
地域貢献		当院を、 就職先の選択肢の1つ にさせていただけると幸いです。【45】
		新卒の新人教育の中で、周りのスタッフから今の子どもたちは...という声を多く耳にします。時代や世代のせいもあるかと思いますが、教える側もその子たちに対して柔軟に対応し、今まで通りの昔のやり方ではなく 教える側も新人教育を学んでいく必要がある と痛感しています。もちろん当院にも該当します。【135】
学ぶ場の提供		地域医療の推進 【147】
卒業生の傾向		公開講座 等あれば、是非一緒に参加させてもらえればと思う。【23】
		学びたいと考えている人へ どんどん門戸を開いていただきたい と思います。【122】
		学生の卒後の能力に 個々の差が大きい 気がします。【85】
		すべてではないと思いますが、 卒業生がキャリアアップを考えている ようで、良いことだと思います。【47】

意見の内容	データ
当大学教育への評価	学生教育は素晴らしいと感じています。受け入れる側(病院)がスタッフ教育を充実させていく必要があると日々感じています。【2】
	他大学卒業生と比べ、特に劣っているところは感じません。【134】 保健師に本当になりたい人のみ教育して欲しい。保健師と看護師では、教育の中身が全く違うため、即戦力にならないのはしかたないが、現場で教育に時間がかかりすぎてまかせられるまでに時間がかかりすぎた。保健師の本質がわかってない。【1】
その他	このようなフィードバックの場を設けてくださり、感謝いたします。【87】 今後もよろしく願います。【145】
	下記の問いいですが、なぜ資格なのですか？ 1番現場でほしいのはジェネラリストです。ローテーションをしているんな分野の疾患の看護ができる看護師が1番欲しいのです。様々な既往歴をもっていたり、混合病棟も多いからです。専門集団では困ります。そうなれる人材をまず育ててください。基本的に看護ができてから専門になってほしいのです。卒業教育も意思を見習い、スーパーローテーションが必要と思っています。看護師の方が昔の医師のようです。【89】

5. 今後、職員が取得を希望している資格と、責任者として職員に取得して欲しい資格

師長は、学士、専門看護師（以下、CNS）、認定看護師（以下、CS）への学修を希望しているが、スタッフは修士への進学、CN、特定行為などの実践的な専門家としての学修を望んでいるものが多い傾向にあった。大卒者が多くなり、キャリアアップとして、修士課程を希望し、専門学校卒でも修士課程への入学できる制度の活用を希望していることが推測される。

また、CSが職員と師長も希望数が最多であった理由については、CNSよりも分野が具体的であり、より実践的で習得したい内容が明確であることが考えられる。CNS, CNともに高齢者に関連した分野の希望が多いことが明らかになった。

また、特定行為研修を組み込んだ認定看護師教育が開始され、今後も希望者は増えることが予測される。今回の結果でも、特定行為の希望者が3番目に多いことから、認定看護師が受講を希望していることも推測される。

本学の大学院では修士の学位取得と特定行為の学修が可能であり、スタッフのニーズには応えやすい環境を提供できることが強みであることが改めて明確になった。卒業生を含む地域のスタッフナースの進学を積極的に勧めることが課題となる。

項目

1. 学士の学位
2. 修士の学位
3. 博士の学位
4. 診療看護師（ナースプラクティショナー：NP）
5. 専門看護師（CNS） ⇒ （分野：）
6. 認定看護師（CN） ⇒ （分野：）
7. 特定行為 ⇒ （区分：）
8. 保健師
9. 助産師
10. 養護教諭
11. その他

職員の希望	貴方の希望
0	23
27	20
5	5
11	12
18	34
46	63
22	29
16	11
12	6
3	1
5	9

5-5. CNS の希望分野

分野	回答数
老人看護	3
がん看護	3
精神分野	2
看護学分野	1
認知症	1
緩和ケア	1
家族看護	1
問わず	1

5-6. CN の希望分野

分野	回答数	分野	回答数
WOC	9	精神	2
認知症	9	集中ケア	2
感染管理	6	放射線	2
摂食嚥下	6	組織に必要かつ希望	1
脳卒中	5	看護管理者	1
緩和ケア	4	クリティカルケア	1
がん放射線治療	4	手術看護	1
慢性心不全看護	3	院内ケモ認定看護師？	1
救急看護	3		
がん性疼痛看護	2		

5-7. 特定行為希望区分（原文）

- 慢性期
- 創傷管理関連、創部ドレーン管理関連
- 呼吸器・栄養・血糖コントロール・循環
- 皮膚排泄ケア
- 9区分14行為
- クリティカル、WOC
- 創部ドレーン
- 呼吸器関連、
- 動脈血ガス分析

5-11. その他希望する資格（原文）

- ケアマネ
- NCPR, アドバンス助産師
- 回復期リハビリテーション 認定NS
- しかし、まだ、今のところは、めげずに、現場で働ける人がほしいです。

- 一部署の経験だけでなく他分野も経験しキャリアを考えたい。
- 腎臓病療養指導士 糖尿病療養指導士
- 資格ではないですが看護研究をもっとしっかりやれるようになりたいと希望します。
- ケアマネ、摂食嚥下
- ジェネラリストとしての高い看護実践能力
- 造血幹細胞移植のクリニカルラダー
- 退院調整看護師
- 各分野での様々なスキルの取得 (ELECC,BIS,ICLS,JNTECT、MCLS など)
- BLS.ACLS.PEARS.等の専門部分の資格。

まとめ

アンケートの対象者 256 人で、149 人 (58.2%) から回答をいただきました。2020 年の COVID-19 流行のピークを迎えようとしている時期のアンケート依頼にも関わらず、多忙な医療現場の師長から、6 割近いアンケートの協力をいただいたという事実が、本学の卒業生が各地域に根付いたという肯定的な評価であり、大きな意味があると受け止めております。今後、新しい時代、生活様式の中で行われる、全世界の人々の保健行動の変化、急性期の集中治療や看護の機会の増大を視野に入れつつ、地域で穏やかに生活するための看護職の役割と課題を改めて考えるためのさまざまなご意見をいただくことができました。

未曾有の経験の中にもかかわらず、本学の教育の要望や期待を込めて、アンケートへのご協力を承諾いただきました各施設の責任者様、現在の卒業生の状況を考え、これまでの経過と今後の期待を込めたご回答いただきました師長様がたに深く感謝いたします。

担当者：坂江、吉川、武田、内山、藤井、川口

参考資料 (V. 本学卒業生の採用に関する希望とその理由)

希望	理由	データ	
採用したい そう思う : 91名 ややそう思う : 34名	看護者としての成長が みられる	<u>順調に成長</u> している。【6】	
		専門職としての <u>能力の維持向上に努めている</u> から。【19-2】	
		協調性があるが、決して公私混同する事なく、仕事に対する姿勢についても <u>後輩のお手本</u> となれる様な行動がとれる。【53-3】	
		<u>リーダー</u> としてよくやってもらっているから【77】	
	看護者としての能力が 備わっている	考える力 がある	<u>問題解決など高い能力</u> を身に付けていると思います。【1】
			現象・現況の <u>論理的思考</u> ができる。【11】
			患者のケアが丁寧で、 <u>思考能力</u> が高い【43-②】
			<u>看護研究をまとめていく力</u> はあるので他スタッフへ見本となる様リーダーシップを発揮してもらいたい。【59】
			<u>論文等のまとめ方</u> は上手、自分の考えを持っている【65】
			専門学校より大学という環境で <u>論文や、考える力を身に付けてきている</u> 他部署の看護師を見ると、今後の看護部の担い手になってくれると思うため。【114-1】
			<u>倫理的なことを考えられる力</u> がある。【120】
			前向きな 姿勢があ る
		<u>前向き</u> で、広い分野で学びたいという意欲がみられます。【14-①】	
		<u>真面目に取り組み</u> 、着実に力をつける要素を持っている学生である。【31】	
		<u>まじめに仕事に取り組む姿勢</u> が良いと思います。患者、家族に対して対応が丁寧です【69-①】	
		学習意欲 がある	<u>仕事にも熱心</u> であり、今後の成長が期待できるから【74】
	<u>仕事に向き合う姿勢</u> が素晴らしい【75】		
	静かな雰囲気ではありますが、 <u>自分の意志</u> を大切に、ていねいにケアをしています。【35-1-①】		
	患者さん周囲の人達を大切に考え、 <u>真摯な姿勢</u> で仕事に取り組んでくれています。【35-2-②】		
	採用についての権限はありませんが、職場の中で <u>がんばってもらっており</u> 、回り（同僚等）から評価されています。【45】		
<u>前向きに取り組もうという姿勢</u> が見られます。【89-1】			
現在勤務している卒業生については、特に <u>看護に対する姿勢</u> やコミュニケーション能力を高く評価しているので、今後の卒業生にも期待している。【107-①】			
<u>前向きに頑張っている姿</u> を見て、学生時代に培われたものが活着していると感じるから。【121】			
<u>努力している姿</u> があり、今後も成長する感じが感じられるため。【133】			
丁寧なケ ア・対応が	入職当初から <u>学習意欲</u> もあり、積極的である。【6】		
	前向きで、広い分野で <u>学びたいという意欲</u> がみられます。【14-②】		
	患者さんに丁寧に接しており、 <u>学習意欲</u> も高い【25-②】		
	<u>学び、向上しようとする意欲</u> がある【93】		
	<u>意欲的</u> で、実践能力が高い【106-①】		
	<u>学習意欲</u> が高い【108】		
	<u>学ぼうとする姿勢</u> と謙虚な気持ちで指導を受ける事ができているため【119-①】		
	社会人基礎力をもちあわせており、基礎的知識あり <u>学習意欲</u> もある。【141-1-③】		
丁寧なケ ア・対応が	<u>患者さんに丁寧に接して</u> おり、学習意欲も高い【25-①】		
	患者の <u>ケアが丁寧</u> で、思考能力が高い【43-1】		

	できる	患者、家族と向き合え、 <u>ていねいな看護</u> ができる【46】
		まじめに仕事に取り組む姿勢が良いと思います。患者、家族に対して 対応が丁寧 です【69-②】
		静かな雰囲気ではありますが、自分の意志を大切にして、 <u>ていねいにケア</u> をしています。【35-1-②】
		患者さん周囲の人達を大切に考え 、真摯な姿勢で仕事に取り組んで来ています。【35-2-①】
		丁寧な看護 ができる【111】
		患者さんへの対応 が素晴らしい。また、知識、技術が優れている。【137-①】
	基本的知識がある	基本的知識 、接ぐう、協調性が身についている。【34-①】
		基本的な知識 がしっかり身についている【42】
		地域医療の学び ができています【60】
		基礎学力 、対人関係において、他の信任職員よりも優秀であり、今後も自部署にぜひ入植してほしいと思います。【86-①】
		しっかり学んでいる。 知識を身に着けている と感じます【92】
		専門的知識 と技術の提供が期待できるから【118-①】
		患者さんへの対応が素晴らしい。また、 知識 、技術が優れている。【137-②】
		基礎学習をしっかりと習得 している印象です。【135】
		社会人基礎力をもちあわせており、 基礎的知識 あり学習意欲もある。【141-1-②】
	実践力がある	対応できる 基礎的な能力 は獲得されていると思います。【40-1】
		1年目で一人立ち はでき、今後に期待している【94】
		意欲的で、 実践能力 が高い【106-②】
		専門的知識と 技術 の提供が期待できるから【118-②】
		柔軟性と 実践力 に優れている【132-②】
	コミュニケーション能力がある	コミュニケーション能力 に関しては個人差が大きいと思いますが、患者、家族、スタッフとコミュニケーションがとれ、チームとして働くことができる。(知識技術は実践の中で身につけることができる。コミュニケーション能力が高いとNICE!)【38】
		スタッフとの コミュニケーション も取れている。【89-3】
		現在勤務している卒業生については、特に看護に対する姿勢や コミュニケーション能力 を高く評価しているので、今後の卒業生にも期待している。【107-②】
	協調性がある	基本的知識、接ぐう、 協調性 が身についている。【34-③】
		協調性 があり、周囲と協力できる。【53-1】
		基礎学力、 対人関係 において、他の信任職員よりも優秀であり、今後も自部署にぜひ入植してほしいと思います。【86-②】
	柔軟性(受け入れる姿勢)がある	素直で伸びしろ がある。成長が楽しみな看護師である。【96-3】
学ぼうとする姿勢と 謙虚な気持ち で指導を受ける事ができているため【119-②】		
柔軟性 と実践力に優れている【132-①】		
自分の短所を把握しているので アドバイスをきちんと受けとめられる 。【141-2】		
責任をもちることができる	責任 を持ち仕事を行っている。【19-1】	
	任された役割を 責任 を持って果たそうと努力して取り組んで来ています。【49】	
	責任 をもって任務を最後まで遂行する力がある。【53-2】	
社会性がある	マナーが	
	基本的知識、 接ぐう 、協調性が身についている。【34-②】	
	社会人としての マナー がある。素直で伸びしろがある。成長が楽しみな看護師である。【96-1】	
身についている	常識 がある【42】	

		社会人としての マナー がある。【96-2】
社会人基礎力がある		社会人基礎力 を身に着けた人材であり、このような人材は今後も是非受け入れていきたいです。【54】
		社会人基礎力 をもちあわせており、基礎的知識あり学習意欲もある。【141-1-①】
		看護における4つの力のバランス が取れています【138】
		困ったことは自ら発進 できる。【89-2】
人間性に優れている		最近の新卒看護師の中では、秀逸して、 人間性 に優れていると、すべての関わるスタッフの評判です。もちろん、すべての卒業生がそうではないと思いますが、貴大学の印象をも高く押し上げる人材です。【37】
感性が豊かな		感性が豊 で真面目に取り組んでいること。【7】
大学の教育方針のよさ		貴大学の教育システム で高い倫理観と人間性が培われた所が大きいと思いますが、個性もあると思うので【4】
		課題解決に向け努力する姿勢があるところに 貴校教育方針 が感じられるため。【7】
		学生個々の資質にもよるところもあると思うが、学ぶ姿勢が 貴学の方針 から育まれたものであるならば、看護を提供する仲間として一緒に働きたい。【8】
		貴校の学生が実習する姿を見ると 倫理を大切に する姿勢が良く伝わってくる。【23】
		看護学教育に対する貴校の熱心な 教育方針 から、卒業生が看護に対して真摯に向き合い、当院の看護の質も向上していくと考えられるから。【39】
		実習の様子は 礼儀正しく努力している様子 がよく分かる【70】
		各々が 目標をもって看護 しており、 その力を養う教育 をしていると思うため【83】
		順応する力をもった教育 を受けているのかなと思ったので。【103】
		看護師は知識、技術も大切だが、一番は人間性である。 豊かな人間性の看護師を育成している と感じたから【130】
		しっかり 学校で学び職場でいかせている から【81】
		マナーや技術知識は就職後に養われる と考える為、部署の教育体制を整え本人の成長につなげたい。【33】
地元での活躍につなげたい		県内の大学なので、 地元として協力 したい。【15】
		地域の一番身近な学生 であり希望者がいれば育てていきたいと思う【67】
		実習に来ている面 で良ければ採用し将来の足がかりにしてほしい。【71】
		地元の学生を大切に、 地域に根付いて活躍 してほしいため【84】
		地域の保健師活動の講義や現場実習を体験 するなかで、志望をしていただけることは、 当市としても気持ちや意欲のある人材の採用 に繋がります。【131】
		実習でお世話になっている点と地域医療に貢献 してほしい【134】
“大学卒”であることへの期待		専門的な知識を発揮 してもらいたい【22】
		看護の力 をいかしてほしい【30】
		大学で学んだことを、現場に活かして いてほしいから【62】
		看護師としての活躍 を期待しているから【104】
		大卒に限らず、 ロジックな思考能力と言語化能力 のある看護師が必要です。【109】
		大学で学んだ専門知識を活かして欲しい 。また、研究などにも取り組まれた経験を伸ばして欲しい。【127】
		卒業場所による実践能力に大きな差がなく、 理解力は大学出身の方が良好 である点【128】
病院（看護部）の理念に		精神科病院 として倫理を重んじるため。【23】

	合致していればよい		回復期リハ看護に興味をお持ちであれば歓迎します【24】
			当院の看護師として合っている。素直、やる気、やさしさ【29】
			当院の理念や基本方針に沿って業務を行うことや地域貢献できる方なら【55】
			知識があり、研究できる力がある学生、自ら学ぶ姿勢のある方はぜひ【63】
			信頼できる人間性があり、当院の理念「寄り添い、支える看護」を実践できる能力があること【122】
	人員確保のため		一人でも多くの看護職を輩出して頂きたい【52】
			看護師不足のため【64】
			助産師不足のため【78】
			保健師が不足している【82】
			少しでも人員を確保したい【85】
		現場は人手不足なので、どこの卒業生でも受け入れたいです。【97】	
		看護師不足【110】	
*課題がある	人との関わり	知識はあっても、人間との関りが上手でない人が多い気がする。【10】	
		個性、コミュニケーション能力などを、高めていただけるとよいと思います。【40-2】	
	人間性	能力的には幅広く、学ぶ力もあるが、社会人としてモラル社会性が欠ける。【32】	
		自分の経験上では専門職としての人間性に期待できる方が少ない。しかし、多くの卒業生には接していないので自分の評価が偏っているかもしれない。優秀な学生も多いと期待しています。【116】	
	「看護」に対する理解	看護師免許取得の「看護」のイメージをある程度明確に出来、また、社会人をある程度、教育を受けていることが望ましいと考えます。【41】	
		看護師という職業への意味づけや動機づけが、もしかして不十分なのかもしれません。5年目にして、今後のあり方に悩んでいます。【50】	
考える力	専門学校より大学という環境で論文や、考える力を身に付けてきている他部署の看護師を見ると、今後の看護部の担い手になってくれると思うため。しかし、そうではない看護師もいる。本当に看護大学卒業生なのか？と疑問をもつ職員もいる。【114-2】		
	もっと自己学習する姿勢が必要だと思う。【143】		
採用 したくない あまりそう思 わない :9名 そう思わない :5名	<ul style="list-style-type: none"> ● 実践できない ● コミュニケーション能力が低い ● アセスメント能力が低い ● 判断不足（インシデントの多さ） ● 反省できない ● 早期退職 ● 国試不合格 ● 個人的要素（特徴） ● 実習施設 ● 地元に戻るリスク 	保健師の教育が他大学卒業生にくらべて、しっかりできてないことを感じる。（県看卒の新人が入ってから、刺激を受け、仕事への向き方が変わってきた。）【0】	
		授業や実習で身に付けておいてほしい知識、技術を実践で発揮することができなかった。当方の力不足もおおると思うが、先輩たちが同じことを何度言っても、やってみせても、一緒に練習しても身に付かないことが多く、職場でのコミュニケーションも良くならず2年が過ぎました。国試対策偏重で学生の適正にも配慮なく卒業生を送り出しているのかと思ってしまいました。本当に、職場の全員が育成に苦勞し、それでも保健師として3年目を迎えられなかったので、佐久大卒業生へのイメージが固まってしまっています。【72】	
		卒業生によって差はあるがきちんとした仕事ができている。しかし1人コミュニケーションあいさつ面で指導するのに苦慮した。社会人としてのあいさつはきちんとできてほしい。【13】	
		国試不合格であったり早期に退職してしまったり長く働く人材という印象がないため【48】	
		個人差もあるが個性的インパクトの強い人だったのでそう思いました。【16】	
		当人しか見ていませんが、当人を見る際は採用したいとは思いません。【68】	
		アセスメント能力が低い【100】	
		アセスメント不足、判断不足と思われるインシデントが多い。言葉では反省をしているがあまり深く考えない。まだ成長過程なので、時間をかけて指導をしていこうと思っている。【113】	
		知識・実践能力に欠けるため。指導は段階に合わせ、丁寧に対応している。【140】	

		隣地実習先だから【79】
		個人とは関係なく、遠方から就職の場合、 地元に戻るリスク あるため。【90】
		1名なので何とも言えない【99】
無回答 :3名		どの学校を卒業しているかは、あまり考えません。資格取得後本人がどれだけ努力、研鑽するかだと思います。 【129】
		1名なのでよく分からない【142】